

登録コード	L2340500	開講年度	2026				
担当教員	鎌田 隆行			副担当			
授業科目	フランス言語文化発展演習Ⅴ						
英文授業名	French Literature and Culture: Advanced Seminar Ⅴ						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生		講義期間	前期	曜日・時限	水曜・2時限
講義室	人文401 演習室		遠隔授業科目		読替科目		
信大コンピテンシー	該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ						
	【2023年度以降カリキュラム対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門の学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			⇔	近代フランス文学と歴史・社会の関係を学ぶため、小説の原典を読解し、フランス文学の理解を深めることができます。		
	【2023年度以降カリキュラム対象】必要な情報を確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】			⇔	近代フランス文学と歴史・社会の関係を学ぶため、小説の原典を読解し、フランス文学の理解を深めることができます。		
	【2023年度以降カリキュラム対象】専門の学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】			⇔	近代フランス文学と歴史・社会の関係を学ぶため、小説の原典を読解し、フランス文学の理解を深めることができます。		
授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	演習形式の授業です。 フランスの大衆小説作家エミール・ガボリオ（1832-1873）の短編『失踪』と『呪われた家』の原典を精読します。現代ではその名は忘れ去られてしまいましたが、ガボリオは19世紀当時の人気作家で、特に探偵小説の先駆者として後のモーリス・ルブランらに多大な影響を及ぼしました。復権が待たれる作家です。本授業では、名刑事による推理ものの『失踪』と、題名に反してユーモアとアイロニーの込められた社会小説『呪われた家』の二編を講読し、新たな大衆小説の詩学がいかに誕生したかを考察します。						
授業計画	1.ガイダンス：この授業の進め方、教科書、辞書、事前事後学習の方法について学びます 2.導入：作者と作品概説 3.原書講読：『失踪』 p. 257-259 4.原書講読：『失踪』 p. 260-262 5.原書講読：『失踪』 p. 263-265 6.原書講読：『失踪』 p. 266-268 7.原書講読：『失踪』 p. 269-272 8.中間討議 9.原書講読：『呪われた家』 p. 273-275 10.原書講読：『呪われた家』 p. 276-278 11.原書講読：『呪われた家』 p. 279-281 12.原書講読：『呪われた家』 p. 282-284 13.原書講読：『呪われた家』 p. 285-288 14.総括討議 15.まとめ；この授業についてのアンケート（10分程度）を行います						
成績評価の方法	授業での講読演習（50％）と期末レポート（50％）により、総計点に基づいて成績評価を行います。						
成績評価の基準	講読演習：(1)構文の理解、(2)語彙の理解、(3)発話状況の理解、(4)文体的特徴の理解、(5)歴史的コンテキストの理解を判定基準とし、(1)～(5)に加えて、授業で学んだ文献が適切に参照されていれば「卓越している」。(1)から(5)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「合格水準にある」と評価されます。 期末レポート：(1)問題の設定が適切であり、(2)その問題の背景を説明できており、(3)その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(4)それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており、(5)その上で自分の見解を提示できており、(1)～(5)に加えて、授業で学んだ文献が適切に参照されていれば「卓越している」。(1)から(5)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「合格水準にある」と評価されます。						
事前事後学習の内容	毎回の授業の終わりに学習内容を振り返って事後学習用の短答式課題を出題し、また、次回の内容につながる予習の指示を行います。次の回の冒頭で、前回の事後学習課題について討議を行います。 ※この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。						
履修上の注意	フランス語の原典講読の授業のため、フランス語学習者が対象です。 受講前に必ずこの授業のeALPSを参照してください。 当然ながら、不測の事態がない限り毎回出席すること。 この科目では授業内での読解・討議・課題への取り組みを重視します。これらは出席を前提として行われるため、欠席が多い場合、高得点は困難になります。						
質問、相談への対応	授業終了後、時間があればその場で質問に応じます。それ以外の時間はメールで対応します（メールアドレス						

質問、相談への対応	レスはeALPSに掲載）。
教科書	PDFで配布します。
参考書	授業中に随時紹介します。